

令和3年度伊勢原市総合教育会議 次第

日時：令和3年11月17日（水）

午後2時から

場所：市役所3階 議会全員協議会室

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

【テーマ】ICTの活用による教育施策・事業の新たな可能性

(1) 学校教育分野について【資料1】

(2) 社会教育分野について【資料2】

4 閉 会

ICTの活用による教育施策・事業の新たな可能性 (学校教育分野 ～GIGAスクール構想について～)

教育指導課

1 GIGA スクール構想について

児童生徒1人1台の学習用コンピュータと高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境を実現する。

2 整備状況

○ネットワークの整備

- ・市内小中学校全ての学校でケーブルの配線及びアクセスポイントの設置を完了
- ・各普通教室、特別教室、職員室、体育館等で Wi-Fi 環境を構築
- ・インターネットをセンター方式から各学校で接続するための整備を完了

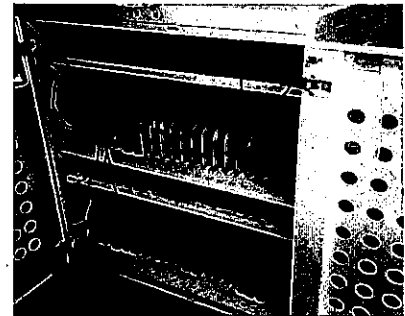


○端末充電保管庫の整備

- ・市内小中学校全ての端末充電保管庫の設置を完了

○端末の整備

- ・10.1 インチ、デタッチャブル型(タブレットとして使用可能)の端末を令和2年3月全校整備
- ※児童生徒の端末のパスワードは個々にランダムに割り当てられており、一人一人異なるもので運用している。



3 研修状況

○情報教育担当者へ、1人1台端末及びアプリの使用方法や活用方法、充電保管庫の設定等を研修

- ・「chromebook」の概要、充電保管庫の使用方法・使用計画、ビデオ会議ツール(「Meet」)

○学校ごとに教職員向け1人1台端末の導入研修を実施

- ・「chromebook」の概要、google workspace の使用方法(「classroom」)、授業支援アプリ、ドリルアプリ

○夏季休業中に1人1台端末の活用研修を実施(教育センター)

- ・授業での活用

○夏季休業中のほとんどの研修をビデオ会議(「Meet」)を使用して開催

- ・ビデオ会議(「Meet」)の実践

○ICT 支援員による学校訪問支援

- ・ビデオ会議ツール(「Meet」)、モバイルルーター、Wi-Fi のマニュアルの作成
- ・学校での授業支援 等



4 情報共有

○情報教育担当者会、情報教育研究会、各教科研究会、ICT 研究会での情報共有

○教職員用ネットワーク掲示板でのマニュアルや活用実践例の共有

5 学校における活用実践例

○教科の実践例

- ・国語科ではドリルソフトでの漢字練習
- ・社会科ではインターネットでの調べ学習、プレゼンテーションの作成
- ・算数科では問題の解き方を端末の画面上で共有、ドリルソフトでの習熟
- ・理科では顕微鏡をネットワークにつなげての観察、自然観察の記録(写真)
- ・外国語科ではスピーチの録画、端末上で発表活動
- ・体育科では鉄棒や跳び箱の実技の撮影、提出
- ・教室に入りづらい児童が別室で配信された外国語の授業を視聴 等

○教科外の実践例

- ・運動会のスローガンの意見の集約、クラブの希望調査(「classroom」)
- ・東海学級の児童へビデオ会議ツール(「Meet」)を活用しての読み聞かせ
- ・登校していない児童が学級活動(朝の会、帰りの会等)へのビデオ会議(Meet)で参加
- ・登校していない児童とアプリケーションソフトを使用して課題の提示・回収・返却を実施 等

○その他

- ・児童生徒の各家庭でのWi-Fi調査及び端末接続テスト
- ・スケジュール管理、会議の意見交換・共有、大型掲示板へのお知らせ 等



6 今後の取組における課題

○学習における1人1台端末のさらなる活用のための研修及び支援体制の充実

○今後活用が進むことを見据えた児童生徒への実践的な情報モラル教育の充実及び情報セキュリティ体制のさらなる構築

○端末や周辺機器の修繕や更新への対応 等

ICTの活用による教育施策・事業の新たな可能性 (社会教育分野等)

1. 社会教育分野におけるICTの活用

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の集客型の講座やイベント等の実施が制限されている状況下でも、市民に学びの場を提供し、生涯学習の推進を図るための有効な手法として、ICTを活用したオンライン配信事業の導入が進みました。さらに、新型コロナウイルスに関係なく、来館が困難な利用者へのサービスの充実や、施設の閉館時間に限定されることなく、図書館サービスが利用できるような取組もICTを活用することで推進しています。

2. 各所属での取組

【社会教育課】

(1) 人権セミナー、動画配信やZOOMによるオンライン研修

ア) 神奈川県の人権教育の概要、ともに生きる社会かながわ憲章：神奈川県協力

配信期間：令和3年2月18日～3月18日 (視聴回数 270回)

イ) 多文化理解・多文化共生社会という視点で人権的な気付きについての語りとピアノ演奏

配信期間：令和3年3月20日～8月末 (視聴回数 398回)

ウ) 「どうしたらわかり合えるの？」外国につながりのある子どもたちや保護者の支援を考える
：神奈川県協力

令和3年7月14日開催 (参加者数 44人)

エ) 「多様な個性を受け止めるために」LGBTQの理解を深める

NPO法人共生社会をつくるセクシャル・マイノリティ支援全国ネットワーク協力

令和3年11月10日開催 (参加者数 44人)

(2) 生涯学習関係事業 動画配信など

ア) 第32回市民音楽会：伊勢原市音楽家協会協力

配信期間：令和3年3月1日～5月末 (視聴回数 1,879回)

イ) 第35回伊勢原美術協会展：伊勢原美術協会協力

配信期間：令和3年3月20日～4月末 (視聴回数 331回)

ウ) 紙芝居で触れる伊勢原の民話：伊勢原の民話紙芝居制作委員会、おはなしばる～ん、
日向薬師 宝城坊、雨降山 大山寺協力

① 日向薬師の大太鼓 ② おとめ地蔵 ③ ワシの子育て

配信期間：令和3年3月20日～現在 (視聴回数 2,203回)

エ) 中央公民館防災ビデオの作成 令和3年10月10日から配信中

中央公民館ご利用の皆様へ「地震・火災時の避難」の方法を中央公民館利用サークル「悠遊会」による作成。

オ) 中沢中学校区家庭教育講演会 配信予定 令和4年1月中旬～3月末

講師 塩浦健吾氏 (塩浦眞理選手の父親)

テーマ「子どもの夢の育て方」(仮題)

カ) スマートフォンの使い方体験セミナー 令和4年3月 中央公民館他5館

【教育センター】

(1) こころ・子どもに関するオンライン講演会

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、長期間の外出自粛、学校等の休業、在宅勤務、経済不安などにより、こころの状態や子育てに対して不安や戸惑いを抱えている市民向けに、子ども部子ども家庭相談課、公益財団法人明治安田こころの健康財団との共催のもと、4つのテーマで各専門家講師によるオンライン講演会を開催し、市のYouTubeチャンネルから配信。

ア) 「ウイズ・アフターコロナ時代のこころの整え方」

配信期間：令和3年3月5日～3月11日

(視聴回数：第1部144回、第2部106回、第3部110回)

イ) 「子育てを楽しむために」～子どもも自分も愛おしいと思えるように～

配信期間：令和3年3月12日～3月18日 (視聴回数：第1部108回、第2部78回)

ウ) 「不登校の理解と対応」

配信期間：令和3年3月19日～3月25日

(視聴回数：第1部123回、第2部95回、第3部85回)

エ) 正しく怖がろう「インターネット・ゲーム依存症について」

配信期間：令和3年3月26日～4月1日

(視聴回数：第1部140回、第2部93回、第3部120回)

(2) 「子育て応援フェスタ2021(オンライン開催)」での動画配信

ア) 正しく怖がろう「インターネット・ゲーム依存症について」

※3月の配信後反響が大きかったため、再配信しました。

正しく怖がるゲーム依存症《第1部》～ネットゲーム依存ってどんな状態?～

《第2部》～どうしてなるの?どうしたらならないの?～

《第3部》～ネットゲーム依存になった人を回復させるには?～

配信期間：令和3年10月16日～11月7日

(視聴回数：第1部120回、第2部90回、第3部59回)

【図書館】

(1) いせはら電子図書館の開設

来館が困難な利用者への図書館サービスの充実と、「新しい生活様式」に対応した読書推進を図るため、図書館の開館時間に限定されることなく電子書籍の貸出、返却が可能なサービスを開始。

- ・開設日時：令和3年10月1日(金) 午前9時
- ・利用できる方：伊勢原市内に在住・在勤・在学で、伊勢原市立図書館の有効な利用者カードをお持ちの方
- ・貸出点数：3点まで(電子書籍の貸出数は、図書館資料の貸出点数には含まれません)
- ・貸出期間：2週間(期間を過ぎると自動的に返却)

ジャンル別コンテンツ数・貸出数 2021.10.1～10.31

ジャンル	一般書										郷土資料	児童書	絵本	計
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術工学	産業	芸術	言語	文学				
コンテンツ数	146	160	334	846	181	137	81	632	122	5627	6	158	70	8500
貸出回数	6	18	19	23	20	33	20	34	6	64	0	74	19	336
	243													

(2) インターネットによる在庫資料予約サービスの開始

館内探索時間を短縮するため、インターネットで予約された資料を図書館スタッフが回収し、貸出カウンターでお取り置きするサービス。

・開始日時：令和3年5月13日(木) 午前9時

・利用状況： 在庫予約件数(相互貸借による他図書館からの予約を含む)

5月	6月	7月	8月	9月	10月
345	559	591	543	708	686

【 歴史文化担当 】

(1) 文化財ホームページ「いせはら文化財サイト」

伊勢原の歴史や文化財に関する情報をより早く、広範囲に発信し、伊勢原の魅力を広くPRするとともに、地域の歴史や文化財等を学習できる機会を提供するため、平成20年に開設。以後、コンテンツの追加、更新を重ね、充実を図っています。

ア) 主なメニュー

- ①日本遺産 ②文化財保存活用地域計画 ③指定文化財 ④文化財映像ライブラリー
- ⑤図書案内 ⑥いせはらの歴史 ⑦浮世絵に見る相模大山 ⑧相模大山の絵はがき
- ⑨大山寺縁起 ⑩市民団体の紹介

イ) 内容

- ・「紙芝居で触れる伊勢原の民話(再掲)」「日本遺産プロモーション映像」「甦る宝城坊本堂ー平成の大修理ー」「大山詣りー御師が育んだ大山信仰ー」などの動画を公開。
- ・いせはら文化財サイトの4メニューについて英語版を、令和3年11月15日に公開。今後充実させていく予定。

3. 課題等

オンライン事業を推進していくためには、インターネット環境のない方や操作方法に不慣れな方など、情報格差の解消が課題です。また、公共施設でのインターネット環境のさらなる充実を図ることも求められます。

電子図書館サービスは始まったばかりですが、さらに多くの方に利用してもらえるよう、コンテンツの充実や郷土資料等のデジタル化などへの取り組みも必要です。

また、伊勢原文化財サイトを始めとするホームページでは、国内外の多くの方に見ていただけるような、さまざまな工夫をこらし、充実を図ることが必要です。